

ほうじん さかりこ



発行所

酒田市中町二丁目4番1号

公益社団法人 酒田法人会

TEL 26-4772 FAX 26-4788

URL <http://www.3.ocn.ne.jp/~s.houzin>

E-mail s.houzin@jeans.ocn.ne.jp

● あたらしい時代の経営者へ 法人会 ●

— 公益社団法人酒田法人会 —

第2回通常総会報告



挨拶する前田会長

「遊休資産保有制」
「公益」・
「50%超支相償」
「財務3基準」(「収支相償」)

例の「表彰式」が行われ、11名・2地区が表彰されました。

「総会運営規則」に基づいて、予め総会案内に議案書(簡易版)と資料を全会員に配布し、出席を要請した結果は、当日出席(129名)・議決権行使(457件)・委任状(168件)で、定款の定める定足数を満たしていることが確認され、定刻の開催となりました。

前田会長は、挨拶の中で前日の酒田まつりの盛況さに触れ、「民活の酒田」の可能性はアイデア次第であり、当会の組織力を堅持し、公益事業体目指して地域貢献を果たしたい」と抱負を語られました。

当会の第2回通常総会は、5月22日(水)にベルナール酒田を会場に開催されました。前年度、「公益社団法人」に移行しての初年度を経過し、その検証の上に立つて今年度の運営について話し合う場となりました。

“公益事業体”をめざして!!



功労表彰を受けられた皆さん!!

(1) 永年勤続功労役員表彰

高橋 幸雄氏
榎丸高

上野 重征氏
榎ユーテック

阿部 孝志氏
阿部建設榎

加藤 聡氏
加藤総業榎

(2) 会員増強運動功労者表彰

船木 博成氏
三協建設工業榎

五十嵐 亮氏
日新開発榎

菊池 恒夫氏
菊池菓子舗

土門 孝康氏
榎最上部品

(3) 会員増強目標達成地区表彰

中央上地区
遊佐地区

(4) 研修会等事業推進者表彰

和田 邦雄氏
鳥海やわた観光榎

荒木 宗之氏
榎山形スズキ

斎藤 恒紀氏
西羽自動車榎

平成25年度 事業方針の骨子

第2回通常総会で承認された

内容をご報告します

昨年度は「公益社団法人」に移行し、新定款に基づく運営がなされた一年でありました。通常総会に諮る「平成25年度の事業計画・収支予算」は2月19日の理事会、「平成24年度の事業報告・収支決算」は4月15日の第1回理事会において審議し、その結果を総会に報告し、承認を得る形となりました。

基本方針

- 「公益社団法人」として、前年度の運営を検証し、今年度の基本方針は引き続き、
- (1) 税務に係る取組みを中心としつつも、公益性比率を重視すること
 - (2) 厳しい環境でこそ、組織基盤の整備に努め、組織力の維持・向上を目指すことを申し合わせました。

「権利行使書」

「総会運営規則」に基づき、昨年度第1回通常総会時から使用を始めた「権利行使書」の活用は、昨年度に比しては向上したものの、期待値には及ばず有効にその機能を高める工夫が必要と考えます。

任期満了に伴う

役員の変更

役員任期は2年であり、今年

度改選期に当たりました。先の理事会にて、理事38名・監事2名の体制を決めておりましたが、選任投票は新規則に基づき「個別投票」を義務付けられていることから、時間が掛かるものと予想されました。しかし、出席会員の手際良い協力で、順調に投票が行われました。(新役員紹介 参照)

税制改正に向けた 提言・要望

先の(公財)全法連が発表した「平成25年度税制改正に関する実現事項」に見る通り、法人会として本務たる取組みであり、消費税率切り上げも予定されている中、中小企業の活力が国の基盤であることを念頭に取り組んでいきます。

税務行政の円滑化

国税のみならず地方税の電子化施策には、これに協力する立場で、啓蒙活動に取組んでいきます。電子認証の取得は、法務局ソフトの活用で利便性が向上しましたが、PC環境が変わることなどで不具合が生じ、時間が掛かる傾向があります。引き続き関係方面との連携を強化しつつ、

社会への 貢献

「情報装備率」の向上への関心を高めていきたいと考えます。

経営支援の立場で、昨年度新たに「中小企業基盤整備機構」の支援を仰ぐ等、「公開講座」に積極的に取組みました。今年度も3部会にあつては、可能な限り広く参加者を募つての研修会・講習会の開催を図り、それぞれに共催事業にも積極的に取り組めます。各企画における集客力も、組織力の評価に繋がることを前提に連携強化を図って参ります。

組織強化と 基盤整備

組織強化の取組みは、今年度も最重要課題であります。組織加入率は、その組織の健全性の指標であり、地区役員会を中心とした活動とともに、新役員の

会員福利厚生 の取組み

皆さんの新たな人的ネットワークにも期待したいものです。

当会の取組みは、他単位会に比して、この分野で課題を残しております。会員メリットを明確にしつつ、その有用性についての情報発信に努めます。



山形県
佐藤庄内総合支庁長



酒田税務署
佐藤統括国税調査官

— 来賓挨拶 —

平成25・26年度役員体制決まる!!

① 本部役員 (理事・監事)

役 職	氏 名	法 人 名
会 長	前 田 直 己	前 田 製 管 (株)
副会長	弦 巻 伸	(株) 弦 巻
"	大 滝 健 二	(有) 木 村 屋
"	滝 井 宗 一	(株) 滝 井 商 店
"	後 藤 毅	荘 内 証 券 (株)
"	平 野 宣	(株) 平 野 新 聞 舗
理 事	上 林 直 樹	(株) 上 林 鉄 工 所
"	大 井 誠 一 郎	大 井 建 設 (株)
"	佐 藤 悌 夫	(株) 日 東 軽 金
"	和 島 公	せんじん商事(株)
"	小 林 元 雄	荘 内 振 興 (株)
"	畠 中 昭 治	日 之 出 石 油 (株)
"	池 田 求	(株) 千 代 田
"	高 橋 幸 雄	(株) 丸 高
"	阿 部 孝 志	阿 部 建 設 (株)
"	加 藤 聡	加 藤 総 業 (株)
"	加 賀 谷 勝 也	(株) メ ッ ク カ ガ ヤ
"	大 場 弥 市	大 場 建 設 (株)
"	井 上 義 裕	(株) 新 和 設 備
"	池 田 健 一	(株) ふ と ん の 池 田
"	今 野 博	(株) サ カ タ フ ー ズ
"	新 田 嘉 七	(株) 平 田 牧 場
"	齋 藤 博 紀	(株) 齋 藤 農 機 製 作 所
"	池 田 一 喜	松 山 観 光 バ ス (株)
"	川 口 千 晴	(株) み な と
"	秋 山 伊 佐 雄	酒 田 天 然 瓦 斯 (株)
"	庄 司 茂 正	庄 司 建 設 工 業 (株)
"	平 岡 清 康	酒 田 海 陸 運 送 (株)
"	林 浩 一 郎	林 建 設 工 業 (株)
"	天 笠 俊 介	酒 田 共 同 火 力 発 電 (株)
"	佐 藤 剛 宏	菊 勇 (株)
"	吉 川 哲 央	東 北 東 ソ ー 化 学 (株)
"	渡 部 佐 界	庄 内 園 芸 緑 化 (株)
"	齋 藤 俊 一	(株) さ い と う 精 肉 店
"	中 村 穰	ハ ク ヨ ウ 電 気 (株)
"	齋 藤 英 輔	フ ジ ク ラ 産 業 (株)
"	西 村 修	仮 設 機 材 工 業 (株)
"	大 谷 正 樹	(株) 大 谷 事 務 機
監 事	五 十 嵐 亮	日 新 開 発 (株)
"	高 橋 竹 夫	(株) タ カ ハ シ 会 計

② 地区役員 (◎地区長 ○副地区長)

地 区	氏 名	役 職 ・ 法 人 名
北 部	池 田 求	理 事
	大 場 弥 市	理 事
駅 東	庄 司 富 由 子	(有) 酒 田 水 道 設 備
	池 田 順 一	(有) 池 田 労 務 行 政 事 務 所
中 央 上	五 十 嵐 亮	監 事
	菊 池 恒 夫	(有) 菊 池 菓 子 舗
中 央 下	齋 藤 俊 一	理 事
	荒 木 照 夫	(有) 荒 木 米 穀 店
東 部	中 村 穰	ハ ク ヨ ウ 電 気 (株)
	金 内 勝 彦	(株) キ ャ ド ウ イ ン グ

地 区	氏 名	役 職 ・ 法 人 名
南 部	斉 藤 淳	(株) 斉 藤 工 業 所
	広 瀬 敏 勝	荘 内 防 災 工 業 (株)
河 南	伊 藤 功 彦	T & 日 本 メ ン テ 開 発 (株)
	須 藤 重 彦	(株) 須 藤 製 作 所
遊 佐	庄 司 茂 正	理 事
	本 間 知 広	(有) ほ ん ま
	金 子 誠	金 子 建 業 (株)
八 幡	阿 部 孝 志	理 事
	高 橋 正 幸	八 幡 燃 料 (株)
	小 野 浩 弥	(有) 一 條 製 材 所
松 山	池 田 一 喜	理 事
	渡 邊 辰 雄	(株) 辰 ケ 湯 旅 館
	後 藤 俊	(有) 後 藤 商 店
平 田	今 野 博	理 事
	佐 藤 達 也	(株) 庄 内 エ コ ポ リ ス
	小 林 健	車 の み ど り (有)

③ 委員会委員 (◎委員長 ○副委員長)

委 員 会	氏 名	役 職 ・ 所 属
組 織 委 員 会	滝 井 宗 一	副 会 長
	上 林 直 樹	(北 部) 理 事
	高 橋 幸 雄	(駅 東) 理 事
	滝 井 宗 一	(中 央 上) 理 事
	小 林 元 雄	(中 央 下) 理 事
	佐 藤 悌 夫	(東 部) 理 事
	畠 中 昭 治	(南 部) 理 事
	加 賀 谷 勝 也	(河 南) 理 事
	庄 司 茂 正	(遊 佐) 理 事
	阿 部 孝 志	(八 幡 ・ 松 山 ・ 平 田) 理 事
税 制 委 員 会	後 藤 毅	副 会 長
	阿 部 孝 志	理 事
	大 井 誠 一 郎	理 事
	平 岡 清 康	理 事
総 務 委 員 会	池 田 順 一	三 水 会
	大 滝 健 二	副 会 長
	齋 藤 英 輔	理 事
	佐 藤 剛 宏	理 事
	阿 部 昭	青 年 部 会 O B
	池 田 新	青 年 部 会
広 報 委 員 会	南 間 春 子	女 性 部 会
	本 間 洋 子	三 水 会
	池 田 求 夫	理 事
	渡 部 博 夫	青 年 部 会 O B
	斉 藤 修 一	青 年 部 会 O B
Web 化 委 員 会	大 川 賢 一	青 年 部 会
	佐 藤 幸 美	女 性 部 会
	鈴 木 啓 一 郎	三 水 会
	平 野 宣	副 会 長
Web 化 委 員 会	加 藤 聡	理 事
	大 谷 正 樹	理 事
	佐 藤 清 人	三 水 会

第2回通常総会 記念講演会



「日本の政治は良くなるのか？」

講師 / 時事通信社解説委員 田崎史郎氏

講師は、昭和25年福井県坂井市にお生まれになり、大学卒業後時事通信社に入社。政治取材34年の記者の目で、安倍政権を取り巻く状況について読み解いて頂きました。

政治を見る視点

「政治」はつくづく「政治家」という人間の営みであり、「政治家は何で動くか?」は「情」と「理」(利・理)と言える。即ち、半分は情と打算であり、半分は正しいか否かの判断である。また、「政治」は人を動かすことであり、人は決して個々の学力や学歴では動かない。謂わば、行き着くところ「人間力」と言える。

安倍政権は

長期政権になる!?

長期政権を可能にするのは、安定勢力をもつことと、政権運営手法を識っていることにある。大事な意思決定の際に賛成派が終結するか、反対派が居残るかで、政党文化の違いが出る。人を見る目が大切で、苦境の時こそ信頼関係ができる。

外交はどうなるか?

安倍政権中枢には、優れた判断力と胆力を持つ人材に恵まれ、夏の参議院選挙とその後、政治動向を分析すると、野党の離合集散の状況も含め、情勢は自民党に有利に働いていると言える。中国との国境問題は、依然厳しい緊張関係にあるが、経済関

係まで波及することは、今のところ心配ないとみる。安倍総理も周辺国との対話を重ね、中国の出兵を待つ姿勢を崩していない。韓国関係は未だ複雑で、中国とは歴史的経緯も違う中で、慎重な対応が求められている。北朝鮮とは、拉致問題の解決の糸口が急がれる。

経済問題

原発再稼働問題は、その安全性で子々孫々まで影響する問題であると同時に、日本経済にとっては安定的で安価な電力の供給なくして、その存続が危うくなる虞れがある。雇用のこれ以

上の海外流出では、地方は成り立たない。消費税・TPP問題と合わせ、難しい課題を抱えていることは変わらない。

参議院選挙

第3極が目されたが、足並みが乱れている。このままでは野党が競合して自民党を利することになり兼ねない。マスコミの本格調査・分析は7月に入ってからとなる。

「政治は流れる川」

「流れ」は絶えず変わっている。本年後半から暫くは、総選挙は無という前提で、難しい

政治課題に国民の一人として判断を迫られる可能性はあり、心して政治の動向に注目すべきと思つ。



新役員(理事・監事) 8人誕生!

本総会で、任期満了に伴う役員改選が行われ、向こう2年間の役員体制が決定されました。退任の理事5人及び監事1人に代わって、理事7人・監事1人が選任され、会長・副会長は、引き続き全員重任となりました。(前頁)新役員の方をご紹介します。

新理事



齋藤 俊一氏
㈱さいとう精肉店



渡部 佐界氏
庄内園芸緑化㈱



吉川 哲央氏
東北東ソー化学㈱



西村 修氏
仮設機材工業㈱



齋藤 英輔氏
フジクラ産業㈱



中村 稔氏
ハクヨウ電気㈱

新監事



高橋 竹夫氏
㈱タカハシ会計



大谷 正樹氏
㈱大谷事務機

公開講演会

女性部会 「健康講習会」開催

女性部会が毎年取り組んでいる二大テーマは、「酒田を識る!」と「健康に役立つ!」であります。今年度、早速下記の通り「健康講習会」を開催致します。広く会員以外の皆様にもご参加頂きたく、お誘い合わせの上、ご来場お待ちしております。

開催日時/平成25年7月9日(火)
午前10時30分~12時

会 場/日新開発ビル
「ル・ポットフー」
酒田市幸町1丁目10-20
(TEL 26-2218)

健康講演会/「体内時計と食」
講 師 鶴岡高等工業専門学校
助教授 平尾 彰子 氏

*酒田市出身 最年少で
「杉田玄白賞」を受賞



問合せ先/(公社)酒田法人会 事務局
(一般申込み)
TEL 26-4772
FAX 26-4788

平成25年度「税を考える週間」記念事業

「後藤輝夫とGood Friends」 ジャズコンサート!!

入場
無料

毎年11月11日~17日に行われる「税を考える週間」に、今年度は下記の内容で決定致しました。

地元縁(ゆかり)の出演者を中心に、大勢の皆さんに楽しんで頂きながら、共に「税について考えて頂こう!」という趣旨で企画・開催しております。

開催日時/平成25年11月12日(火) 午後6時30分~8時
会 場/酒田市民会館・希望ホール

演奏メンバー(予定)

- 後藤 輝夫 (Sax)
*酒田市生まれ 国内ツアーやNYバンドで活躍中
- 西山 'HANK' 史翁 (Guitar)
- 羽仁 知治 (Piano)
- Wornell Jones (Bass)
- Marty Bracey (Drum)
*いずれも日本の音楽界で長年活躍している大ベテランばかり!



ご 案 内/
9月以降、
ポスター・
チラシ等で
ご案内

— 感 謝 状 贈 呈 —



伊東さんご苦勞様でした!

昭和56年、当
会がそれまでの
任意団体から、
「社団化」した
時から、当会事
務局を支えてこ
られた伊東百合
子さんにも前田
会長から感謝状
が贈られました。

事務局

羽田 久夫 氏
上野 重征 氏
西村 慶治 氏

羽田スクリーン印刷(株)
(株)ユーテック
西村鉄工(株)

当会の役員規
程第4条に基づ
き役員定年を迎
えるご三方に、
前田会長から感
謝状が贈呈され
ました。
それぞれ地区
長・組織委員と
して、当会の会
員増強運動には
格別ご尽力頂き
ました。



永い間ご苦勞様でした!!

— 平成25年度 3部会 —

第2回 通常総会開かる!!

当会の事業展開の大きな推進力となっている「青年部会」「女性部会」「研修部会」の通常総会が、親会に先立ってそれぞれ4月に、新規程に基づいて開催されました。

青年部会	4月19日(金)	18時30分～	日新開発ビル
女性部会	4月23日(火)	10時30分～	ホテルリッチ&ガーデン酒田
三水会	4月17日(水)	12時30分～	ホテルリッチ&ガーデン酒田

青年部会



杉山道弘青年部会長

青年部会は、昨年度「公益社団法人」移行初年度において、酒田法人会の事業推進力として、遺憾なく組織力を発揮致しました。「総務・交流」「税務」「社会貢献」の三委員会と、年7回の役員会を中心に、先進企業訪問・事業承継・子育て教育等と時宜を得たテーマを掲げて活動しました。継続事業としての「出前租税教室」では、6年目を迎え、女性部会の担当校についてのサポートを含め、積極的に取り組みました。

卒業生のみなさん



新入生のみなさん



本総会を機に卒業生は5人、新入生は4人で、今年度も組織強化は重要課題として取り組むことを申し合わせました。

- りました。(敬称略)
- 部会長 杉山道弘
 - 副部会長 池田新・佐藤博信
 - 幹事 大川賢一
 - 齊藤薫・阿部健太郎
 - 上林えり・畠中秀昭
 - 保科泰昭・若村光司
 - 佐藤大・齋藤洋平
 - 佐藤達也

女性部会



佐々木聖子女性部会長

昨年度は、とりわけ「公益事業」を意識した取り組みの展開となりました。6月には「南三陸復興支援ツアー」を実施し、また8月には全法連の呼び掛けに呼応して「いちごプロジェクト」として初体験の街宣活動に取り組みました。「出前租税教室」と連動して取組んだ「税に関する絵はがきコンクール」も5年目となり、応募状況・作品内容から

して、小学児童に対する税知識の啓蒙に一定の成果が得られたものと考えます。

第2回総会を記念しての講演会は「庄内に魅せられて!」と題して、中原浩子氏から「街興しのヒント」を篤く語って頂きました。

女性部会も役員改選期に当たり、平成25・26年度の新役員体制は、以下の通り

- 部会長 佐々木聖子
- 副部会長 佐藤幸美
- 幹事 南間春子・野口美保
- 荒生多鶴子

研修部会(三水会)



池田順一研修部会長

今年度役員5人体制で運営し、機動性を見定めながら、会員間の交流を深め、活動の充実に努めることを申し合わせました。

会員企業の実務者研修会として活動開始して44年。部会体制に切り替わって1期の経過の中で、他部会との共催事業にも積極的に取組みました。毎年のように変わる税制改正の内容を検



証し、新たに中小企業基盤整備機構からの支援を仰ぐ等、より幅広く「経営に役立つ」情報を収集・研修に努めました。

第2回総会と同時に行われた4月例会は、「円安と株価上昇に伴う地方経済への波及効果について」と題して、東北財務局山形財務所長の菅原 高氏による講演で、経済指標を基にして県内の景況について研修しました。

三水会も今年度役員改選が行われ、新体制は以下の通りです。

- 部会長 池田順一
- 幹事 鈴木啓一郎・佐藤清人
- 池田信也・本間洋子

今年度も経営実務講座を中心に、年間計画と担当幹事を決めるの取組みを展開し、可能な限り「公開」に努めつつ、その内容充実に努めることと致しました。